

市長と語る タウンミーティング
テーマ「災害に強いまちづくり」

日 時 平成24年7月5日 午後7時～9時00分
会 場 原分館（武蔵野町会）

参加者 26人

主な意見等（◆・・・参加者 ☆・・・市長）

◆災害時に不便なことは道で、狭くて救急車、警察、消防車、自衛隊などが動けない。通学路も狭い。

☆道路は計画的に整備を進めていかなければならないと考えている。

◆本庁舎を耐震化することだが、支所を建替えるのはお金の無駄使いではないか。また、庁舎を1箇所にして建てる方がよいのではないか。

☆なぜ庁舎かと言うと、東日本大震災でもわかるように、庁舎がなくなると復旧復興もできないからです。また、なぜ消防本部を支所の敷地に持ってきたのかと言うと、消防力の適正配置計画があり、その中で支所付近に消防本部を持つてくるのが当時の2市2町をカバーでき、鶴ヶ岡分署も不要になるとされたためです。しかし、各市町に消防本部を設置したい意向があり、長らく手が付けられなかった。ここで急遽建替えとなったのは、更新が懸案であった指令台がいよいよ持たなくなったためです。また、支所は耐震基準を満たしていないため、災害時には倒壊の恐れがあり、毎年修繕費用も発生していました。消防本部への支所敷地売却収入を支所整備費用に充てれば支所の建替えが可能となるのでこの計画を進めました。

また、市の中心部へ庁舎を、とのことですが、市の高齢化率は約23%で、10万8千人のうち2万3千人以上が高齢者となり、例えば亀久保小付近に庁舎を持ってきても、出張所的なものが必要となる。また、用地の確保が難しく賛成反対があり相当な期間が必要となる。そのため早期に対応でき、費用を抑える方法として本庁の耐震化と大規模改修をすることとした。さらに、ここで百年間もつ庁舎を建設した場合、これから先には新たな合併も考えられ、また、庁舎が大きい必要もなくなるかもしれないので、そのことは後世の人たちの判断に委ねたい。

道路については、予算が減っている。今後は雨水対策に振り分けていきたい。雨水対策の計画を作成し、三ヶ島街道や西中学校付近の対策をしていきたい。学校については耐震化を最優先し今年で終了する。今年度は2年かけて西中、鶴ヶ丘小、来年度からは2年間で三角小、亀久保小の大規模改造を実施する。新たな事業を実施するには、何かを止めたり新たな財源を捻出しないとできない。しかし、皆さんのごみの分別によって焼却するごみが減り、大井清掃セン

ターを止めることができ2億円が浮いた、その2億円が一般会計予算額332億円の中に入っている。

- ◆関越よりこちらが手薄になっている。災害で関越が壊れた場合、だれが状況を把握して連絡するのか。
- ☆担当が確認したところ関越は盛土をしているが、過去に崩れたことがないので調査をしてないとのことでした。問題は、関越下のコンクリートのトンネルや三角交差点の橋が架かっている場所の耐震性がどうなのかなので確認をします。
- ◆武蔵野地区は災害時に問題となるのが水の問題。下水道ができていない。かつて清掃センターができた時にその冷却水を通すため道路に30cm程度の下水管を通した。しかし、道路の管理を三芳町に移管したため、三芳町でL字側溝を作り、自然浸透していた水を下水管に流すようになり、下水管が溢れるようになった。下水の整備をしてほしい。
- ☆三ヶ島街道には、川越市と本市の雨水管が入っている。本来本市の雨水は砂川堀に流さなければならないがつながっていない。今から作ると150億円程度かかってしまう。川越市の管は不老川と川越江川に流れているが、本市の管もつながせてもらっている。現在あるものを活用するしかないが、対策としては本市の管が細いので、上流と下流に一時的に雨水を貯める浸透池を作ってゲリラ豪雨時に水が溢れないようにしたいと考えている。また、各家庭に雨水浸透枡を設置する県の事業に本市が手を挙げ対象となったので、その事業を進めて、少しでも雨水管に流れる量を減らしていきたい。
- ◆八軒谷の交差点で、三芳町からの水が流れてくる、なんとかならないか。
- ☆東台ではその逆で、ふじみ野市の水が三芳町に流れている。水は高い所から低い所に流れるので対応は難しく、このような話はお互い様な所がある。
- ◆この周辺で地震があると想定震度6程度で家屋は壊れるのかどうか。また、避難所の西原小と西中で避難者を受け入れられるのか。食料はどうなるのか。
- ☆現在見直し中ですが地域防災計画の中で東京湾北部地震が震度6弱との想定で発生した場合、家屋の全壊は23棟と見込んでいる。阪神淡路大震災は家屋の倒壊が多かったが、東日本大震災は比較的になかった。これは揺れの周期の違いによるものなので、それによって被害は違ってくると思います。

避難所の関係ですが、まずはこれだけは覚えてほしいのですが、災害が発生する時期が、平日か土日か、昼か夜か深夜か、冬か夏か、食事中かなどにより被害が違ってくる。冬の北風が吹いている夕食時でストーブなどが点いていれば火災が発生します。水道管が破裂していれば消防車が来ても水が出ずに火を消すことはできない。災害時には避難所にすぐに避難するのではなく、この地域は畑が多くあるので、まずそのような安全な場所に逃げて身の安全を確保してほしい。落ち着いてから皆さんが集まる場所が避難所となる。その避難所には担当職員が駆けつけることになっている。まずは、安全な場所に逃げて、近所の知り合いのお年寄りがいなければ皆で助けることなどをしてほしい。それ

は、普段の近所付き合いの強さで違って来る。また、例えば地域でバールが1本あれば人を救助できるので、そのような備えをしてほしい。食糧は1日2食として市が1日、県が1日、家庭で1日分確保してほしい。その3日の間に外部から救援が来る。避難所では他市の方やたまたまふじみ野市にいる方も隔てなく支え合うこととなり、エリアは関係がない。

◆西中の耐震は終了したが、校舎を何とかしてほしい。

☆西中については、昨年設計が終了し、今年と来年で大規模改造を実施します。三角小は来年度から実施します。

◆昨年の震災時、正確で迅速な情報が入り難かった。10日位した時に市に問い合わせたらインターネットで情報を確認してほしいと言われた。停電やインターネットができない人がいるのにその対応はどうか、情報を得られない人もいる。防災行政無線が聞こえないので情報を得られない。冷静な判断には的確な情報が必要。医療と福祉の面にも対応してほしい。透析に必要な方が車のガソリンが無くて困り、市に問い合わせたことがあったが、「どんなことでお困りですか」など相手の立場で対応してほしい。

☆トップになって2年半で、私は皆さんの代表として、市民の役に立つ所が役所、役に立つ人が役人との気持ちで市役所にいるが、当初はそうでない職員もいた。最近は職員の意識も変わってきている。防災行政無線の問題点は聞き難いことで、何を言ったのかわからない状態で情報を流すことによって、かえって不安感を煽ることとなってしまふ。今後、情報の提供方法は考えていきたい。

◆窓口のカウンターに近い順にパートではなく部長、課長、係長を座らせた方がよい。

☆部長は、全体的な部分を掌握することが職務であり、細かいことをするべきではない、また、そんなに暇ではなく賛成できない。職員には、ディズニーランドのように、市民がまた来たくくなるような市役所を目指すようにと言っている。市民は出資者であり、千円納めてもらったならそれ以上のサービスを提供すべきと考えている。

◆調整区域なので下水道の本管が通らない。本管が入っていないから都市計画税を払っていないが、いつになったら通してもらえるのか。

総合福祉センターの風呂なども毎回同じ人しか利用していない、部屋も1人で使っていて無駄ではないか。

民生委員の関係で年度が替わるごとに担当者が変わり、質問しても答えられない。

年をとると本庁に行けない。支所で全部の事務ができるようにしてほしい。合併効果を感じられない。

5時に鳴る音楽がなぜポールモーリアの曲なのか。

☆下水道管が入っているから都市計画税を払っているのではなく、市街化区域であれば下水道管が入っていない所でも都市計画税は払っていますが、調整区域

は払っていない。現在、計画見直しを検討している。計画上は調整区域も下水道管を入れることになっていた。できない計画を作っていた。今実際に下水道管を入れるとなると60年や70年にかかる。計画に入っていないければ浄化槽設置に対し国・県の補助金が出るので、計画から外すのか、計画に入れていつになるかわからない下水道管を待つのか選択する時期に来ていると考えている。そのためにアンケートをとった。

総合福祉センターは特定少数の人しか使っていないと感じる。今後、新しい清掃センターの余熱利用施設ができた時には合併のスケールメリットを発揮し、皆さんが利用できるように工夫したい。

民生委員の質問に職員が答えられないことについては、人員配置の調整をしていきたい。しかし、生活保護が増加し担当者が不足している、また、国保、介護、後期高齢などにも多くの費用を投入している、国が制度を変えないと解消しない。そこで、市としては現役世代を増やしたいと考え、子供優先の政策をし、教育費は近隣では一番高い、子供の医療費も無料化した。その効果として最近の転入者3千人のうち75%以上が子育て世代となった。このことが現役を退いた世帯を支えることになると考えている。

支所の事務については、合併後、無駄を省くために課を統合することはどこでも当たり前に行っていることであった。その中でできない事務が生じた。今後新しい支所ができた時には、人員を増やしたり、シャトルバスを走らせるなどしてご不便を減らしていきたい。

5時の音楽の選曲理由は不明です。

- ◆ふじみ野市は生活保護が受けやすいと言われている。だれかに頼めば受けられると言われている。生活保護の方がいい生活をしている。
- ☆職員は精一杯にやっている。生活保護制度が間違っていると考えている。国が制度を見直す必要がある。